表 1: 困り行動の例

カテゴリ	頻度	(%)	行動特徴	頻度	(%)
表情	46	18.3%	表情の変化，驚き，不満，疑問，困惑	20	43.5%
			苦笑い，照れ笑い	18	39.1%
			表情の変化，しかめっつら	5	10.9%
			表情の変化，舌を出す	3	6.5%
動作	68	**27.1%**	顔，首，頭部に手を当てる	32	**47.1%**
			独り言をいう	23	33.8%
			モニタに近づく	4	5.9%
			首をかしげる	3	4.4%
			頬杖をつく	3	4.4%
			ため息をつく	2	2.9%
			両手を机の下へ下ろす	1	1.5%
キーボード	40	15.9%	キーボードを探索的に見る	40	100%
モニタ	26	10.4%	モニタを見つめる	26	100%
入力	53	**21.1%**	いろんなキーを入力し試すが確定しない	14	**26.4%**
			何度も同じ入力を繰り返す	13	**24.5%**
			キー入力がなくなる	8	15.1%
			スペースキーを多く打つ	7	13.2%
			いろんなキーを試してみる	6	11.3%
			メニューを出すがすぐに消す	2	3.8%
			画面を見ながらキーを入力	1	1.9%
			ファンクションキーをランダムに入力	1	1.9%
			F10 の記号でアルファベットを入力	1	1.9%
その他	18	7.2%	インストラクションペーパーを見つめる	15	83.3%
			課題用紙を見つめる	3	16.7%
総数	251				

引用 :落合ら (追手門大学) による